

株式会社福井新聞社



「正確な情報を様々な形で発信し、地域の人々の生活をより豊かに」

福井市に本社を構え、日刊新聞の発行を基軸に総合情報活動と創造的業務を展開しています。地域とともに歩み、郷土の発展とそこに生きる人々の幸せに貢献し、常に社会の変化を見つめていくことで、社業の発展と県民の生活向上を目指しています。そのために読者から最も信頼され、地域のことなら何でもわかる日本一の郷土紙を作ろうと、地域の人々とともに考え、人々の生活に役立つ情報を提供しています。

現在は紙の新聞のみならず、D刊や福井新聞オンラインなどのデジタル版でニュースの速報や話題を発信。YouTubeチャンネルで様々な記者会見や選挙

の開票状況、イベントなどの中継をしています。

「ふくい暮らしがふくいの暮らしを楽しむために『知っているようで知らなかったもの、こと、ひと』」を各分野から集めて編集し、人とまちをつなぐローカル・ライフマガジン「月刊fu」も発行しています。また、高校受験を控えた中学生向けに「中学生の速習セミナー」を新聞本紙に掲載しています。「fu」とこの「速習セミナー」はデジタル版でも購読が可能です。

福井新聞社は福井で暮らす人々に寄り添いながら、様々な層に向けた情報をアナログ、デジタルの両方で発信しています。

若手社員からのメッセージ



編集局報道部 警察担当
小柳 慶祥さん
(2016年入社)

大阪府出身。小学校高学年時に両親の故郷である福井県内に移住。関東の大学を卒業後、福井新聞社に入社。入社1年目はスポーツの記事を担当し、2年目から4年目までは、小浜支社勤務。その後、現在まで事件、事故などを取材する記者として活躍しています。「新聞社で働く上でのやりがいは、様々な情報に触れられることです。」

〈1日の流れ〉

- 10:30 出社
- 取材①
- 12:00 記事の作成
- 13:00 昼食
- 13:30 取材②
- 記事の作成
- 17:00 取材③
- 1日の取材まとめ
- 原稿確認
- 19:30 退社

Q.現在、どのような事業に力を入れていますか？

A. 速報をはじめデジタル分野での多様な情報発信に力を入れています。これに関連して、動画制作・発信事業による企業活動や行政政策の支援も行っています。

Q.どのような人を求めていますか？

A. 社会の動きや人々の行動へのアンテナが高く、ユニークな発想ができ、好奇心旺盛な人。さらに弱者の視点に立って物事を深く考え、行動ができるような人を求めています。

Q.学生へのメッセージをお願いします。

A. 多彩な職種がそれぞれにキラリと光る個性を放つ面白い会社です。デジタル分野の進展も著しく、新たなチャレンジもできます。ぜひ興味を持ってほしいです。

管理職の方Q&A

Q.今までで一番印象に残っている仕事は何ですか？

A. 入社1年目の時に経験した高校野球についての取材です。実際に取材に行き、記事作成まで自分一人で行いました。責任が重くプレッシャーもありましたが、その分記事が完成したときに大きな達成感を感じることが出来たので印象に残っています。



Q.福井新聞社の魅力は何ですか？

A. 福井新聞社は、歴史が長く、地域の方の信頼が大きいところです。また、入社後すぐに責任のある仕事を任せられますが、その際に社内の誰にでも相談でき、アドバイスをもらえるような風通しの良い雰囲気の中で仕事に取り組めることです。

Q.どのような方が活躍されていますか？

A. 報道部の記者は好奇心が強く、機動力がある方が多く活躍されている印象です。また、福井新聞社には報道部の他にも営業等の様々な部署が存在しており、それぞれの部署の特色に合う方が活躍されています。

取材したい！



岡田ひな子さんの取材後記

福井県のディープなところまで取材ができ、様々な情報を取材出来るということは地域の人々に信頼されている福井新聞社だからこそできることだということを感じました。歴史ある企業であるのにも関わらず、若手のうちから責任ある仕事に挑戦できるという社風は非常に魅力的でした。

若手社員Q&A

